

4点支持杖 低重心 ボルト止め式 取扱説明書

この度は、当杖をお買い求め下さいまして誠にありがとうございます。

下記の取扱説明をお読みくださいまして、正しく御愛用くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書は大切に保存してください。

【特徴】

握りがスポンジ製で手に優しいです。

【寸法調整の方法】

プッシュボタン(高さ調整ボタン)式による高さ調整が可能です。

1. セーフティーボルトを緩めます。
2. 支柱側面の高さ調整ボタンを指で強く押し込みながら伸展棒を抜き差しして高さ調整をします。
3. 希望の高さに調整したら、高さ調整ボタンが支柱側面からきちんと突出したことを確認します。
4. 調整後は、セーフティーボルトをしっかり締めます。

(ボルト頭部が破損したり、ベース部を傷めたり、ネジ山が潰れる事がありますので締め過ぎないようにする事)(裏面図 B 参照)

【正しい寸法の決め方】

- ◆ 杖内側中央を 握り手と同じ側の足先前方外約 20cm に置き、肘が 30~40 度屈曲した状態が適当な長さの目安です。
- ◆ 正しい寸法については医師や、各種療法士等の専門アドバイザーの方にご指導を仰いでください。(図 A 参照)

【製品の規格】

※全長は裏面寸法表示を参照してください。

【使用上の注意】 ⚠

- ◆ 上記【正しい寸法の決め方】を参考に身体に合った寸法で御使用ください。
- ◆ 当杖は、『つえ』なしで自立歩行できる人が、より安定して歩行できるよう補助的に使用するものです。次の①②に該当する場合の使用には適しません。(体重をかけすぎたりすると、かえって肩や手を痛めることもあるからです) 又、購入後次のような状態になった場合は使用を停止すべきです。
 - ① つえなしでは歩行できない方(手すりに伝わらなければ歩行できない方、介助者に手伝わってもらわなければ歩行できない方が含まれます。)
 - ② リハビリ中などのように、体重の一部を支えないと歩行できない方。ただし、医師などの指導の下での使用は含みません。
- ◆ 不適当な寸法の杖を使用すると、正しく歩行できないばかりか、体に不都合が生じる場合が有りますので、歩行並びに取扱いには医師及び専門のアドバイザーの指導に従ってください。
- ◆ 握りに破れや割れが出た場合や、掌を傷つけるような傷が付いた場合は使用を中止してください。
- ◆ 使用前・使用中も高さ調整ボタンが支柱側面からきちんと突出していることを確認して歩行してください。
- ◆ セーフティーボルトがしっかり絞まっている事を確認して歩行してください。但し、セーフティーボルトは支柱の遊び=ブレを抑制し、雑音を抑えるものです。パイプ同士の遊びを完全に止めることは出来ません。セーフティーボルトは高さ調整ボタンが突出していない状態で支柱を固定支持することは出来ません。危険ですので高さ調整ボタンが突出した状態でご使用ください。セーフティーボルトを必要以上に締め付けるとベース部を傷めたりネジ山が潰れる事がありますのでご注意ください。
- ◆ 支柱の真上に荷重が掛かるように握って使用してください。(裏面図 C 参照)
- ◆ 完全平面環境以外では支持が不安定となり、ガタつきます。非平面で長期間使用したり、強い荷重を欠けた場合、脚部分の水平性が損なわれることがありますのでご注意ください。
- ◆ 濡れたり凍結した床一面・路面等滑りやすい場所での使用は、十分注意してください。
- ◆ 杖先が嵌まり込むような溝や窪みがある路面での使用は、杖の破損や、使用者の転倒につながりますので十分注意してください。
- ◆ 先ゴムには油を付けないようにしてください。先ゴムが油で溶けたり変形したりすることがあります。
- ◆ 先ゴムは消耗品です。先ゴムの耐久度は、利用者、歩行条件、床面・路面等により変化します。磨耗して底面の溝が浅くなったり、割れ・欠けが発生している場合は、正しいサイズの新しい先ゴムと交換してください。先ゴムの交換は4個同時に交換してください。(先ゴムはきちんと底まで差し込んで装着してください。4個同時に交換しないとガタつきの原因となります。)
- ◆ その他、異常音や不都合が生じた場合は使用を直ちに中止して専門家に点検してもらってください。
- ◆ 用途以外(登山・護身用等)に使用しないでください。
- ◆ 1人専用が望ましい使用方法ですが、貸与等される場合は使用者自身の始業点検と、貸与業者の定期点検を怠らないように使用してください。
- ◆ 使用後の手入れは、乾燥させてきれいに清掃してしまってください。但し、長時間使用しない場合は、高温直射日光を避けて保管してください。

株式会社 赤井

〒558-0011 大阪市住吉区菟田8丁目11番19号
お問い合わせ、御相談はお客様相談室 06-6608-0562

大 ベース：30.5×20.5cm
全長：71～94cm 約2.5cm 間隔
重量：約1065g
小 ベース：20.5×15.5cm
全長：71～94cm 約2.5cm 間隔
重量：約905g
材質 握り：スポンジ
支柱：アルミ軽合金
脚部：鉄(粉体塗装)
設計原産国：アメリカ合衆国

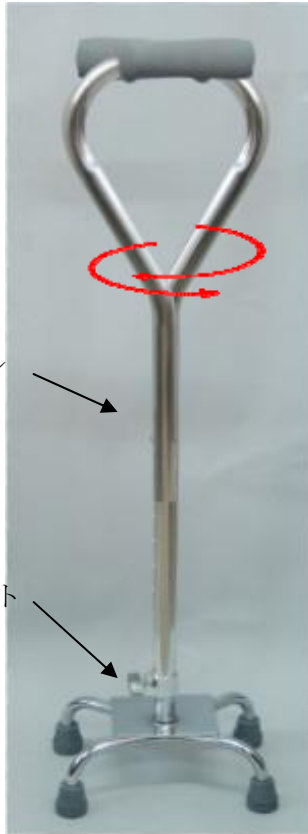
交換用先ゴムの内径：15mmφ (要座金)
標準の耐用年数 4年
利用者の体重の上限 約100Kg

セーフティーボルトを緩め、高さ調整ボタンを押し込みながら握りを回転させて左右を入れ替えます。

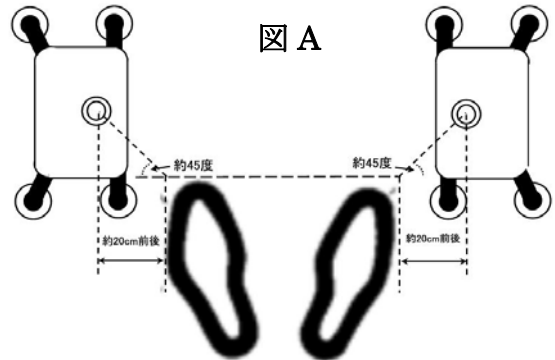
高さ調整ボタン

図 B

セーフティーボルト



握りはスポンジです。硬いものに当たると傷が付いたりしますので注意してください。又、60℃以上の温度で荷重が掛かると変形することがありますので夏場の自動車内に置いて直ぐの使用等にはご注意ください。又、ストーブ等の暖房器具のそばに置かないようにしてください。



支柱の真上に荷重が掛かるように握って使用してください。



図 C



杖を突く場合、杖を斜めに角度をつけて接地させると脚部の水平性が損なわれる場合がありますので、床面や地面に脚部を水平に接地させるように使用してください。

